



Image Analysis Software  
**OLYMPUS Stream**  
Version 2.4

**リリースノート**  
**OLYMPUS Stream 2.4.2**  
**2019年12月**

| 項目   | 内容   |
|--|--|
| マルチタイムラプス撮影のタイム原点を t=0 にリセット                         | 異なるXまたはY位置でタイムラプス撮影を実施すると、各スタックの最初の画像のタイムがt=0 に設定され、以降のタイムラプスシーケンスのタイムスタンプがそれに応じて設定されます。   |
| 実体顕微鏡のリングライト用 VisiLED コントローラーMC 1500 に対応             | <p>Stream は、実体顕微鏡のリングライト用 VisiLED コントローラー MC 1500 に対応できるようになりました。</p> <p>Stream では、リングライトの個々のセグメント、プロセスマネージャー上の操作、およびハレーション除去を実行する機能を制御できるようになりました。</p> <p>この新しい機能を Stream で使う場合、ユーザーはデバイスリストから顕微鏡本体として"実体顕微鏡"を、また"落射光路"タブから"回転式光源"として"VisiLED MC 1500"を選択する必要があります。</p> <p>ハレーション除去機能は、ハードウェアが利用可能である限り、全ての Stream パッケージに含まれています。</p> <p>プロセスマネージャー上の操作(特定の照明条件で画像シリーズを撮影する)は、Stream Motion および Stream Enterprise に含まれていますが、ソリューション"Automation"にも含まれています。</p> |
| オリンパスデバイス構成ファイル (.odc) で、デバイス設定ダイアログのカメラ設定も保存可能      | 既に保存されているプロパティ (デバイスリスト設定、および、カメラ設定の有無にかかわらずデバイス設定内の全ての設定) に追加して、.odc ファイル(オリンパスデバイス構成ファイル)で、画像タイプやミラー状況と同様に、カメラ設定を保存できるようになりました。デバイス設定ダイアログでは、ツリービュー内のカメラに関連する入力事項すべてがこの機能の影響を受けます。   |
| マテリアルソリューション[気孔率解析]:<br>画像全体の解析時に、サンプル結果が 0 になる問題の修正 | マテリアルソリューション[気孔率解析]で、画像全体の解析時にサンプル結果が 0 になる(ROI が定義されない)問題を修正しました。   |
| マテリアルソリューション[鑄鉄解析]:<br>オンラインヘルプの誤記の修正                | オンラインヘルプ 00737 ページの、"鑄鉄解析の実行(エッチング処理されたサンプル)", 設定 - 手順 2 で、画像 1 に関する記載 "閾値の設定が高すぎる..." を "閾値の設定が低すぎる ..." に修正しました。   |

| 項目  | 内容  |
|---|---|
| マテリアルソリューション[粒子分布]:<br>レポートおよび画像プロパティの<br>検証コード値が間違っている問<br>題の修正                      | マテリアルソリューション[粒子分布]で、レポートおよび画像プロパティの検証コード値が間違っている問題(ワークブックには正しい値が表示されている)を修正しました。  |
| 新しいマテリアルソリューション[非<br>金属介在物量]:   | <p>新しいマテリアルソリューション[非金属介在物量]は、非金属介在物の含有量を調べるための追加の方法に対応しています。</p> <p>これは、マテリアルソリューション[介在物最悪視野]を拡張したもので、鋼の最悪視野または最悪介在物のみを解析します。</p> <p>この新しいマテリアルソリューションでは、以下の方法に従って解析が行われます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>- ASTM E45-18 method D: 含有量の低い介在物</li><li>- ISO 4967:2013 method B: 標本の各視野を評価し、介在物の種類を記載する。</li><li>- EN 10247:2017 method K: 数 Kn、面積 Ka、長さ Kl、直径 Kd による介在物の平均含有量</li></ul> <p>マテリアルソリューション"介在物最悪視野"および"非金属介在物量"は、共にソリューション"非金属介在物解析"(ST-S-NMI)でアクティベートすることができます。</p> |
| Prior ズームエンコーダーを搭載<br>した SZX16 で、ズームレベル<br>11.5x の時に、間違ったキャリブ<br>レーションが表示される問題を修<br>正 | Prior ズームエンコーダーを搭載した SZX16 の手動倍率キャリブレーションにおいて、倍率 1.5x の時に間違ったキャリブレーションが表示される問題を修正しました。  |
| Windows 10 [1903] に対応   | Stream 2.4.2 は、Windows 10 のバージョン 1903 にインストールすることができます。<br>Stream 2.4.2 は、Windows for Workstation でテスト確認しています。  |